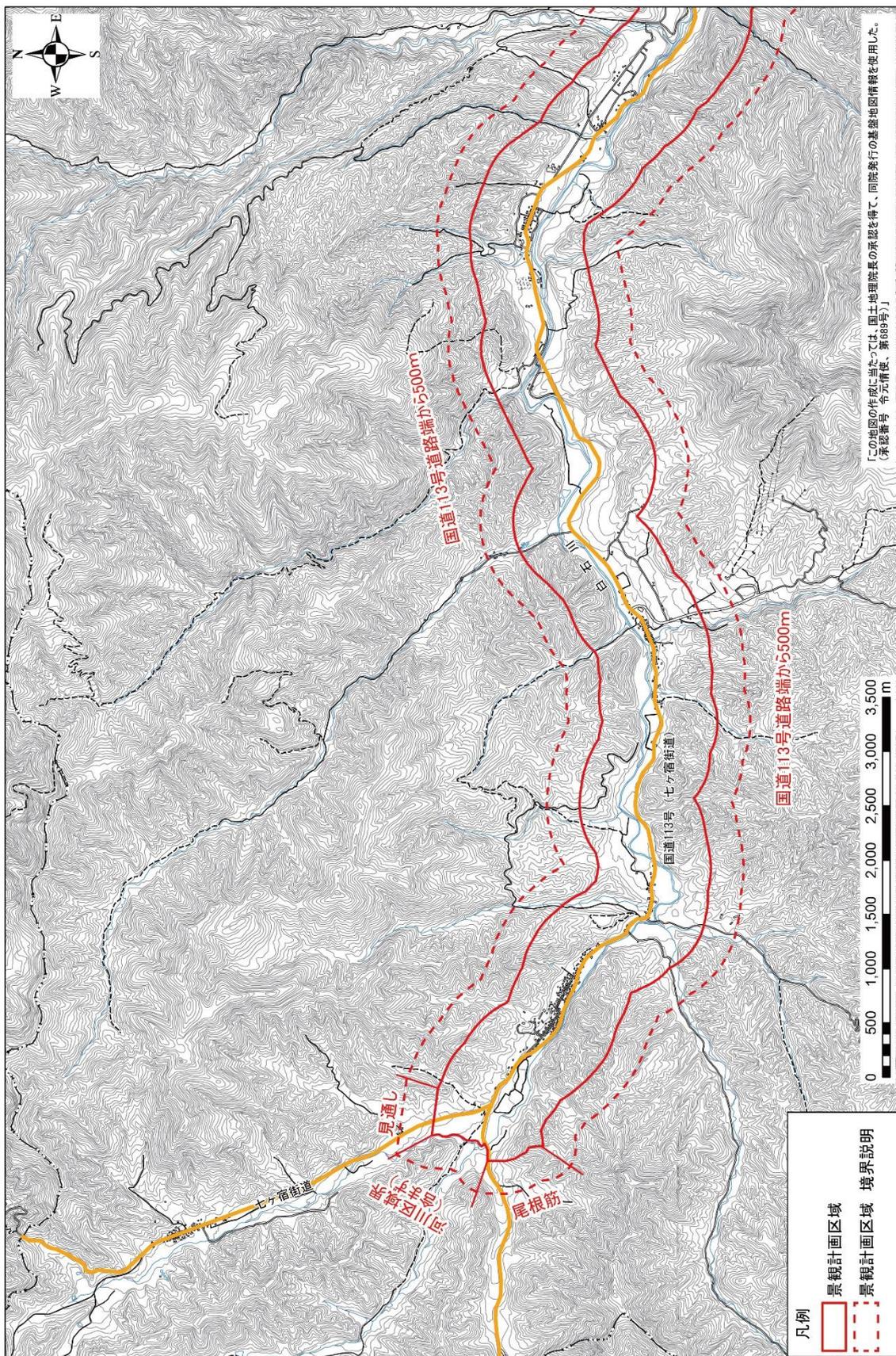
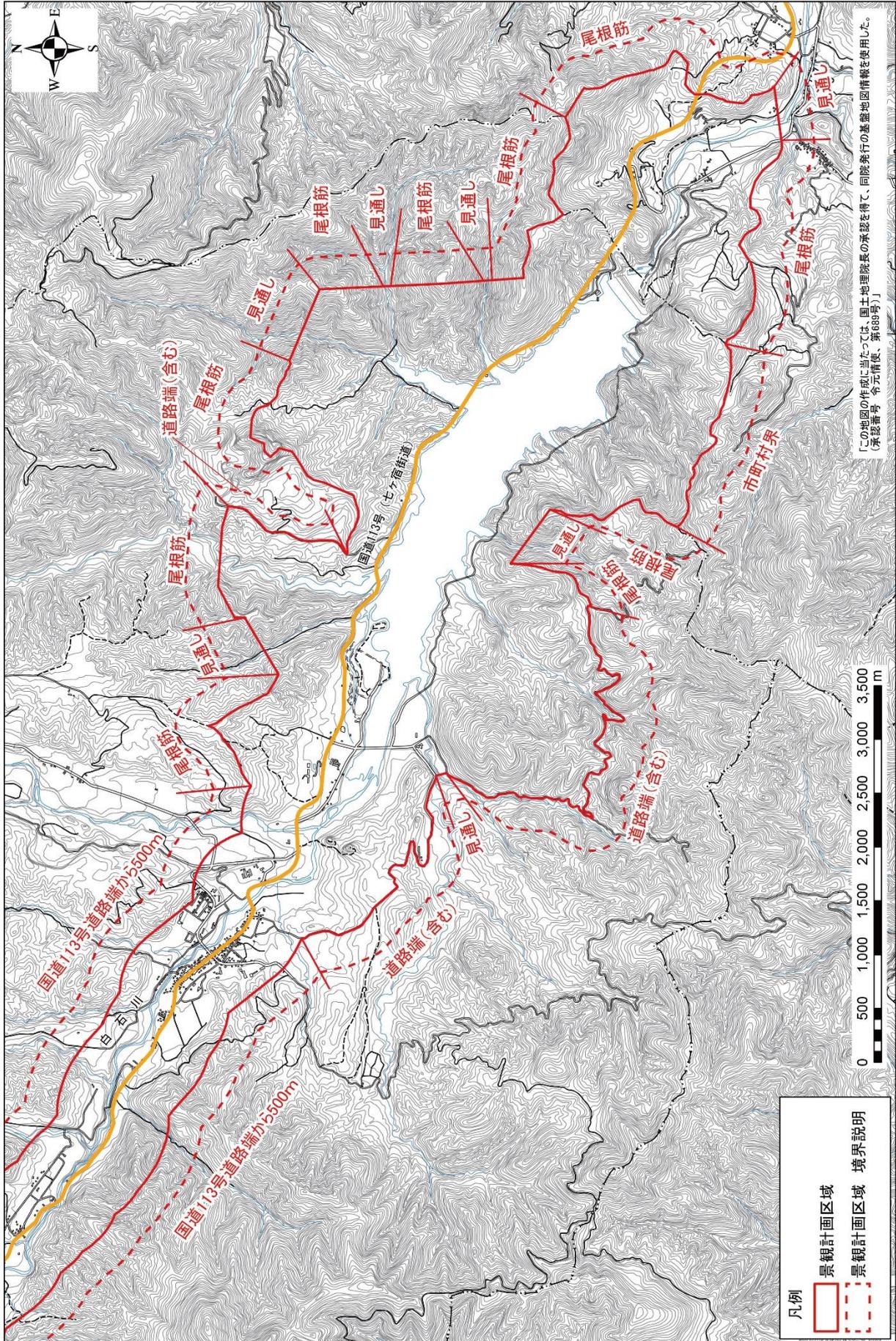


#### 4 七ヶ宿湖・七ヶ宿街道地区

##### (1) 景観計画区域

七ヶ宿湖・七ヶ宿街道地区の区域図を以下に示します。





## 【区域の考え方】

七ヶ宿湖・七ヶ宿街道地区の区域は、以下の考え方を踏まえて設定しました。

当該区域を指定する目的
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県立自然公園として保全・活用が図られている七ヶ宿湖から七ヶ宿町の集落にかけて、白石川の流れをはじめとした自然と、かつての宿場町を担った集落地、それを結ぶ旧街道である国道が連続する。これら自然景観の保全と沿道景観の調和を図ることを目的とする。</li><li>・ また、かつての七ヶ宿街道である国道113号を軸に展開されている景観づくりやまちづくりの取組のきっかけとすることを目的とし、景観計画区域を指定する。</li></ul>
地区内で見られる景観（景観の概況）
<p><b>■仙南地域らしさを象徴する景観</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 白石川の上流に整備された水源地である七ヶ宿湖では、自然休養公園や道の駅等の来訪者施設が整備され、ダム湖の周囲ではレクリエーション施設と広大な水面とそれを取り囲む山並みによる雄大な自然景観が一体となった景観が見られる。</li><li>・ 七ヶ宿湖の下流側では、蔵王火山の活動と白石川の流れが作り出した材木岩を中心とした自然景観が見られる。</li><li>・ 七ヶ宿町の中央を通るかつての七ヶ宿街道である国道113号を軸に、宿場町由来の集落が点在する。また、町の西から東へと流れる白石川と木々、集落が一体となった穏やかな景観が見られる。沿道から見ることが出来る景観は、水田を中心とした農地の広がりや道路まで迫る山地の緑、国道113号と並走する白石川等、場所ごとに変化する多様な景観が見られる。</li></ul> <p><b>■地区固有の景観</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 湯原宿では、ふるさと体験交流館、民泊施設、直売所等が立地しており、その背後に里山が迫る山間部集落の景観が見られる。</li><li>・ 峠田宿では、町場と白石川の距離が特に近く、水と町場による一体的な景観が特に魅力的なものとなっている。</li><li>・ 滑津宿では、歴史資源を中心とした街並み景観が形成されている。</li><li>・ 関宿では、町役場が立地し、国道113号沿道には店舗が立ち並ぶなど町の中心市街地として賑わいのある景観が見られる。また、住宅地の背後には小規模な畑地が見られ、特徴ある集落景観が見られる。</li><li>・ 七ヶ宿町では官民協働で宿場町時代を再現する屋号看板の設置が進められており、これが沿道景観の形成に寄与している。</li></ul>

## 区域設定の考え方

### ■基本的な考え方

貴重な水源地である七ヶ宿湖から、七ヶ宿街道である国道113号沿いに点在する集落にかけて形成される七ヶ宿町の中心を担う区域を含めた。

屋号看板再生の取組や、そば街道、七ヶ宿街道を歩くイベントである「わらじで歩こう七ヶ宿」等、街道沿いやその周辺をテーマにしたまちづくり活動が展開されていることから、景観づくりの観点からまちづくり活動を支援するきっかけとして、七ヶ宿街道周辺を連続して区域を含めた。

### ■個別の考え方（丸数字は、次ページの図中の丸数字に対応）

#### ①旧宿場町

七ヶ宿街道沿いに形成された4つの宿場町については、白石川の流れと木々、集落が一体となった穏やかな景観が見られる。また、宿場町毎にそれぞれ特徴ある景観を有していることから、それぞれの町の歴史性を伝える特徴を保全・活用したまちづくりの取組も踏まえ、区域を含めた。

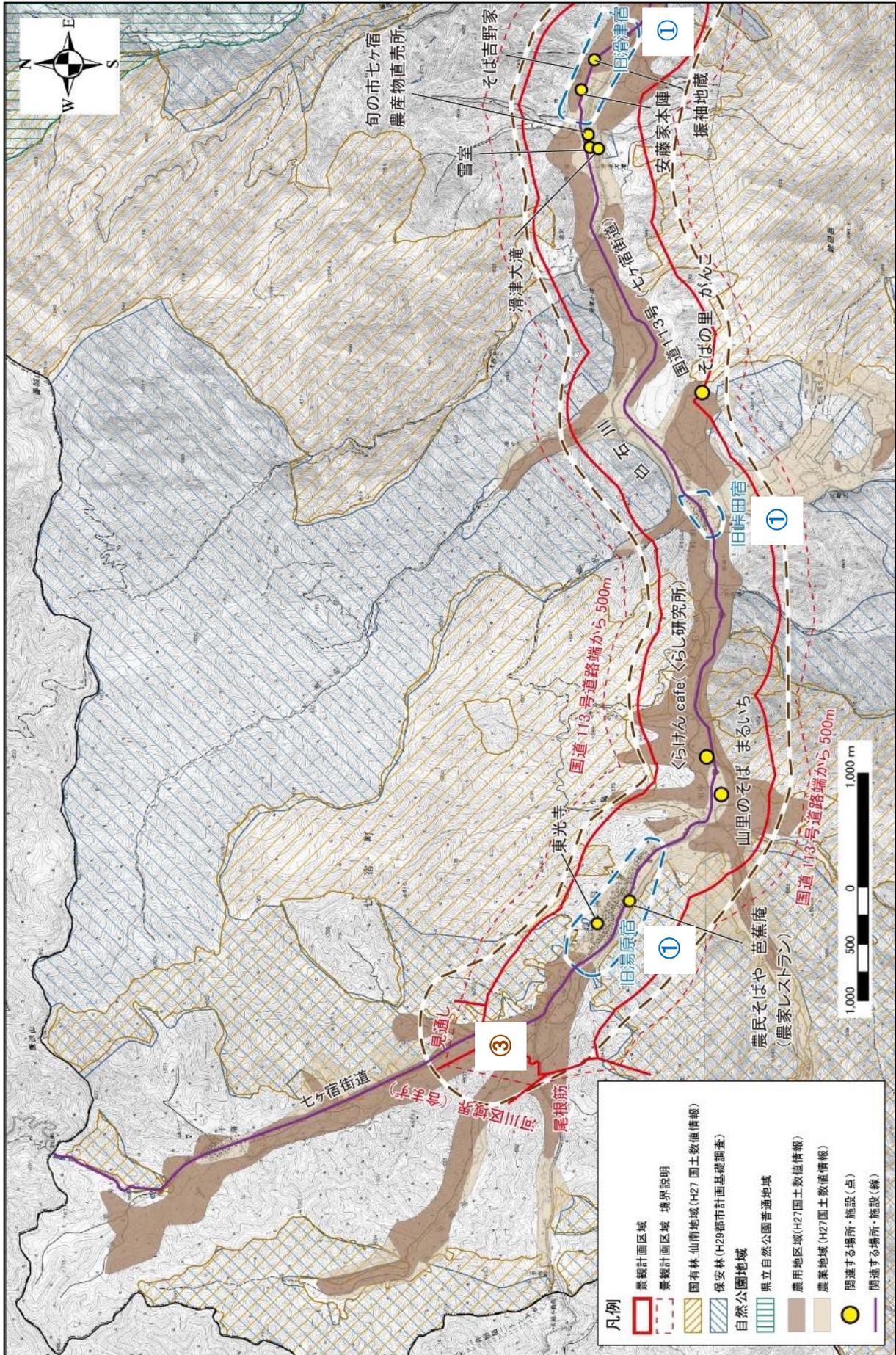
#### ②七ヶ宿湖とその周囲

ダム湖である七ヶ宿ダムは、自然休養公園や道の駅等の来訪者施設が整備され、広大な水面とそれを取り囲む山並みによる雄大な自然景観を有している。さらに、下流側では蔵王火山の活動と白石川の流れがつくり出した材木岩を中心とした自然景観が見られ、その周辺でも材木岩公園等が整備されていることから、湖を中心とした景域として、湖面、その周囲を取り囲む山並み、レクリエーション施設を含む範囲を区域を含めた。

#### ③国道113号（旧七ヶ宿街道沿道）及びその周囲

七ヶ宿湖と各宿場町を結ぶ七ヶ宿街道沿道においては、源流地である鏡清水からの白石川の流れにより形成された地形を土台とした狭い谷地が形成され、両側を山々に囲まれた穏やかな景観を形成している。沿道から見ることが出来る景観は、水田を中心とした農地の広がりや道路まで迫る山林等による山林景観等、場所により趣の異なる多様な景観が形成されている。この移動に伴い変化する景観に対して、連続して調和を求めるために、沿道から一定距離（近景：500m※）内の範囲を区域を含めた。

※国土技術政策総合研究所資料 道路環境影響評価の技術手法に示される近景の距離。ここでは、近景=対象の要素やディテールが目につきやすい領域とされている。



▲区域設定検討図



## (2) 景観形成方針

七ヶ宿湖・七ヶ宿街道地区における景観形成方針を以下に示します。

### ■ 自然景観の保全

- ・ 白石川の水辺や七ヶ宿湖の湖畔と、その周囲に広がる豊かな樹林地からなる水と緑が織り成す自然景観の保全を図る。
- ・ 白石川では、材木岩等の貴重な資源を始めとした、河川環境を保全するとともに、水と河畔林がつくり出す潤いある水辺景観の保全を図る。

### ■ 農の営み等とともにある景観の継承

- ・ 七ヶ宿街道に分布する旧宿場町の集落では、地域の歴史性を活かしつつ、周囲の農地と調和した、落ち着いた集落景観の継承を図る。

### ■ 個性を活かす景観の創出

- ・ 旧街道沿いに当たる国道沿道では、地域の歴史性を活かしつつ、周囲の自然と調和した沿道景観の保全・形成を図る。
- ・ 七ヶ宿湖周辺では、豊かな自然を活かしたレクリエーションの場にふさわしい、水と緑を活かした景観形成を図る。

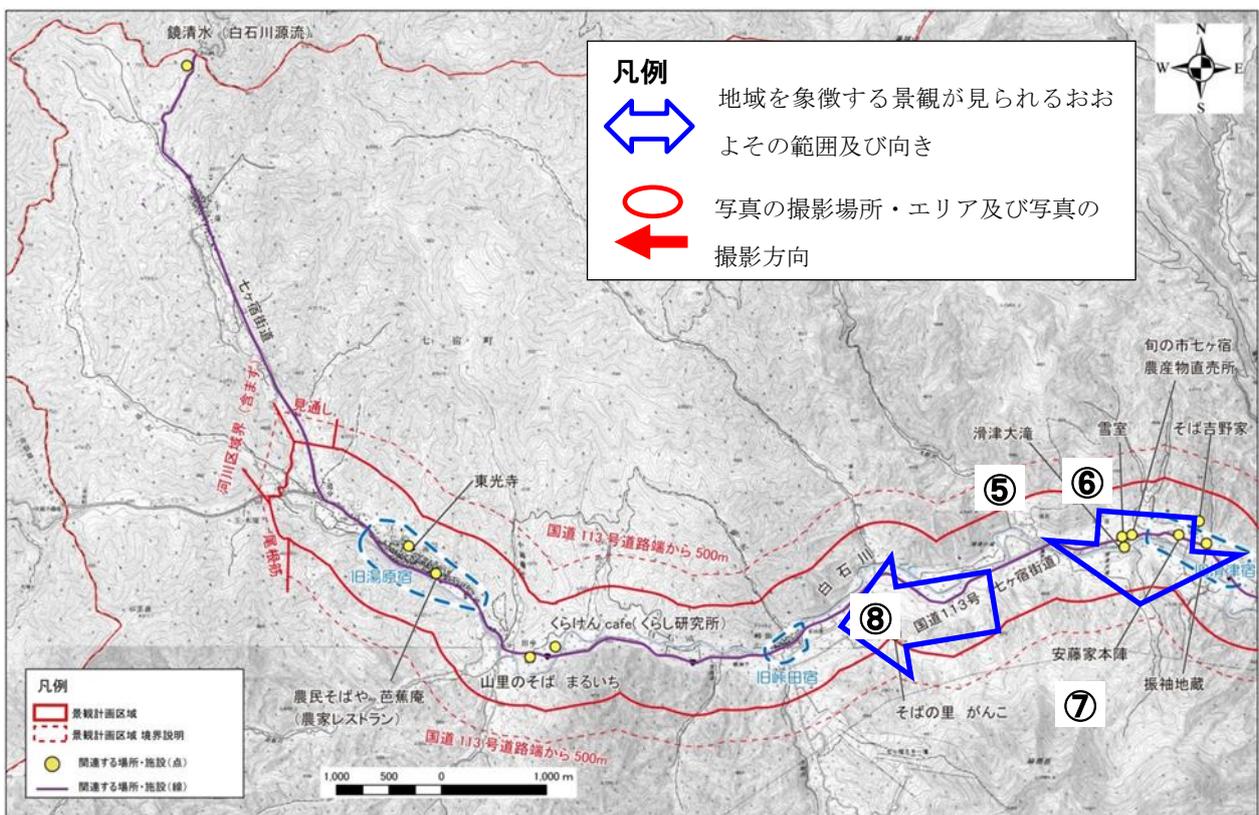
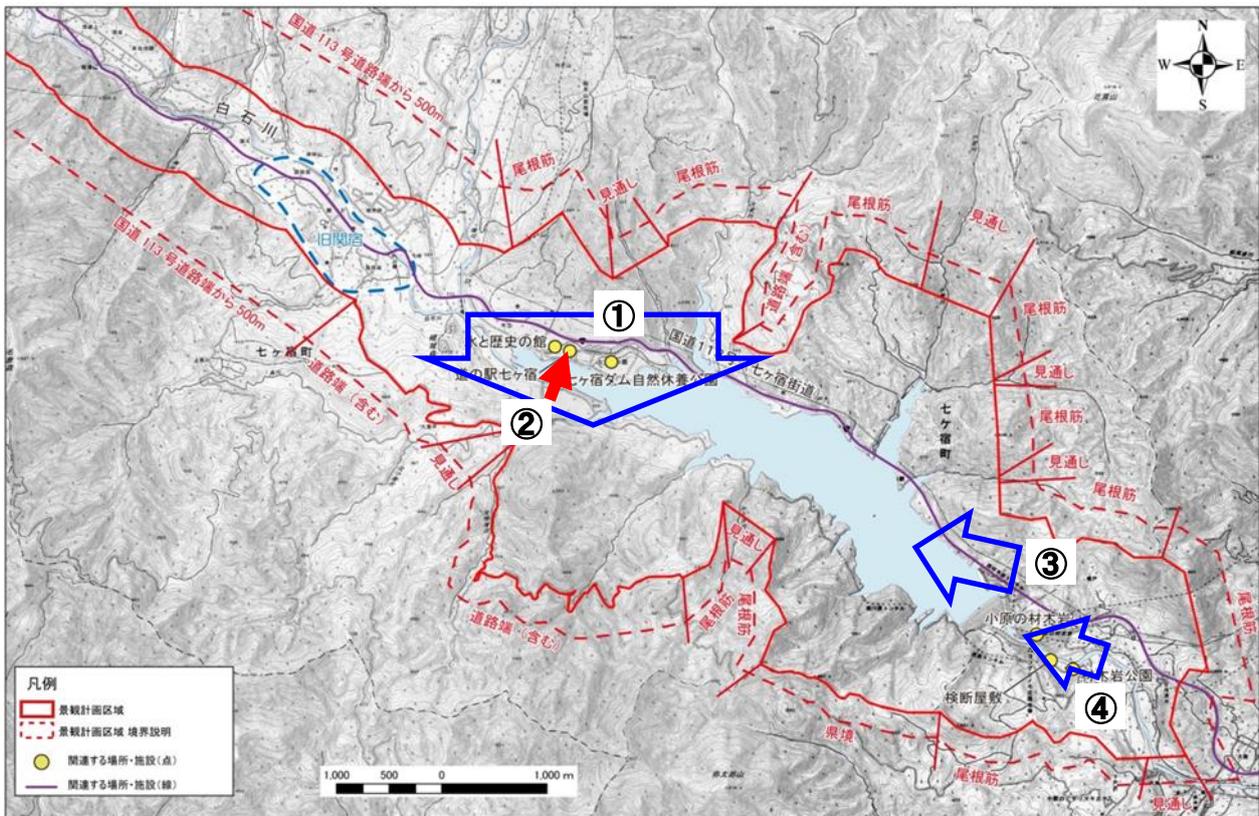
### (3) 景観形成基準

七ヶ宿湖・七ヶ宿街道地区における景観形成基準を以下に示します。

#### ▼景観形成基準

行為	項目	景観形成基準 ※■:地域の特徴を踏まえた基準
建築物 ・工作物	配置・位置	<input type="checkbox"/> 周囲の環境に配慮したゆとりある配置とする。 <input type="checkbox"/> 大規模な施設となる場合には、オープンスペースを有効に配置し、潤いある景観の形成に努める。
	高さ	<input type="checkbox"/> 周囲の自然景観から突出しないよう配慮し、周囲と調和した高さとする。
	形態・意匠	<input checked="" type="checkbox"/> 七ヶ宿湖周辺では、周囲の自然から突出せず、水辺や樹林地と調和した落ち着いたある形態・意匠となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 周囲の里山や田園集落と調和した形態・意匠となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 大規模な建築物等では、長大な壁面を避け、周囲に与える圧迫感を軽減に努めた形態・意匠となるよう配慮する。 <input checked="" type="checkbox"/> 旧宿場町の集落及び周辺では、既存の伝統的な建造物等との調和に配慮した形態・意匠とする。
	色彩・素材	<input type="checkbox"/> 既存の集落で多く見られる建造物と調和するよう、外壁や屋根における素材や色彩に配慮する。 <input type="checkbox"/> 外壁の基調となる色彩は、高彩度の色は避け、色彩を組み合わせる場合には、全体としてのトーンを合わせた統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 屋根の色彩は、建物との調和に配慮し、周囲から突出しないものとする。
	設備類	<input type="checkbox"/> 屋上設備、屋外設備は、建築物との一体化や道路等の公共空間から見えない位置に配置する。やむを得ない場合には、通りからの見通しに対する遮へい等を行い、周囲の景観に影響を与えないよう配慮する。
	外構・緑化等	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の植生に配慮した緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 駐車場を設ける場合には、出入口を最小限に整理し、道路境界部や敷地内における植樹等、周囲に閑散とした印象とならないよう配慮する。
開発行為・土地の形質の変更・木竹の植栽伐採	周辺への配慮	<input type="checkbox"/> 周囲の自然環境、植生等に配慮する。
	造成等	<input type="checkbox"/> 既存の地形を活かした造成に努め、切土・盛土は最小限とする。 <input type="checkbox"/> 法面や擁壁等を設ける場合には、周囲の環境との調和に配慮した素材や工法とする。
	既存樹木・樹林等の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 七ヶ宿湖周辺の既存樹木及び白石川沿いの河畔林等の樹木は、可能な限り保全、活用する。 <input type="checkbox"/> 集落内や通り沿い等で地域の景観を印象づける高木等の既存樹木は、可能な限り保全するよう努める。 <input type="checkbox"/> 植樹をする際は、周囲の自然植生に配慮した樹種の選択に努める。 <input type="checkbox"/> 伐採後は、自然の植生の再生に向けた措置を行うよう努める。

(参考) 区域で見られる景観 (丸数字は、次ページの表中の丸数字に対応)



区域で見られる景観	説明
 <p>①自然休養公園からの七ヶ宿ダム of 眺め</p>  <p>②七ヶ宿ダム北側からの眺め（図内赤矢印）</p>	<p><b>●七ヶ宿ダムの眺め(上流)</b></p> <p>七ヶ宿ダム上流には、道の駅七ヶ宿や水と歴史の館、自然休養公園が整備され、七ヶ宿ダムや周囲の山林とともに穏やかな憩いの景観が形成されている。自然休養公園の駐車場やダムの向こう岸に渡る七ヶ宿大橋からは、ダムの広大な水辺と周囲の山林が作り出す雄大な自然景観を望むことができる。</p>
 <p>③ダム堤体からの眺め</p>	<p><b>●七ヶ宿ダムの眺め(下流)</b></p> <p>ダム下流は、ダムの堤体から七ヶ宿ダムを望むことができ、周囲の山林とともに雄大な水辺と自然の景観を形成している。</p> <p>また、堤体から下流にある材木岩公園も望むことができ、七ヶ宿ダムの雄大で迫力あるダムの景観が見られる。</p>
 <p>④材木岩と白石川の眺め</p>	<p><b>●小原の材木岩と材木岩公園</b></p> <p>ダム堤体下には、岩肌が木のように見える材木岩があり、その周辺は材木岩公園として整備され、特徴的な材木岩とダムから放流された水が流れる白石川の自然景観とともに、憩いの場としての景観が形成されている。</p>

区域で見られる景観	説明
 <p data-bbox="193 584 328 613">⑤滑津大滝</p>  <p data-bbox="193 967 277 996">⑥雪室</p>  <p data-bbox="193 1368 357 1397">⑦安藤家本陣</p>	<p data-bbox="715 244 948 273"><b>●滑津大滝と雪室</b></p> <p data-bbox="715 293 1406 517">国道113号沿いに滑津大滝を望める展望台が整備され、上から大滝を見ることができる。また、滝の近くまで降りる道も整備されているため、周囲を囲む山林と雄大な滝が作り出す自然景観が見られる。</p> <p data-bbox="715 535 1406 663">また、展望台付近にある雪室は、雪を活用した農産物の貯蔵庫であり、積雪の多い七ヶ宿の気候風土がうかがえる。</p> <p data-bbox="715 680 1406 808">安藤家本陣は街道沿いにある大名宿で、宿場町であった旧滑津集落の歴史性を今に残す象徴的な景観の要素となっている。</p>
 <p data-bbox="193 1733 571 1762">⑧沿道の平野に広がる水田地帯</p>	<p data-bbox="715 1424 1241 1453"><b>●国道113号(旧七ヶ宿街道沿道)の景観</b></p> <p data-bbox="715 1473 1406 1742">沿道の平坦部には田畑や集落が広がり、その背景に迫る里山との一体的な農村集落景観が見られる。また、国道113号沿いには白石川の流れが近い場所もあり、国道113号を中心とし、自然景観と農村・町場の景観が交互に連続して見られる特徴的な景観が形成されている。</p>